

報道機関各位

日本赤十字社埼玉県支部

令和5年5月2日

5月は赤十字運動月間

～関東大震災から100年。あの時も、今も、これからも、皆様の日常に～

日本赤十字社埼玉県支部（支部長：大野元裕埼玉県知事）は、赤十字にゆかりのある5月を「赤十字運動月間」と位置づけて、活動へのご理解とご協力を呼びかけます。

今年のテーマは、「赤十字は、動いてる。SAVE365」。
赤十字のアンバサダー 上白石萌音さんが活動を伝えていきます。

関東大震災から今年で100年。赤十字は当時から災害救護にあたっていました。

今も、そしてこれからも「いのちと健康、尊厳を守る」という使命のもと、皆様のかけがえのない日常を支える活動を進めていきます。



皇居前広場救護所大テントの活動状況
(関東大震災当時)

■ **運動月間期間** 令和5年5月1日～5月31日

■ **運動月間中の活動**

呼び掛け 取材可能

救護服を着用した赤十字職員が、赤十字活動への理解と協力を呼びかけます。

日時

5月10日(水)
11:45～13:00

場所

JR東日本 浦和駅東口



昨年の様子

デジタルサイネージ・ポスター

- 大宮駅西口アルシェビル 大型デジタルサイネージ
- 浦和駅 デジタルサイネージ
ポスター掲示
- 県内各地の公共施設
ポスター掲示



ポスター

■取材について■

ご取材いただける場合は、以下の連絡先にご連絡ください。電話等による取材も可能です。その他ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

【連絡・問合せ先】

日本赤十字社埼玉県支部 若佐

TEL (携帯) : 090-7255-1766

E-mail : koho@saitama.jrc.or.jp TEL : 048-789-7117 FAX : 048-834-1520

イベント

各地で開催されるイベントに出展し、幅広く活動をPRします。

(5月の主なイベント)

5/3 キッズわくわくワーク
場所：三郷ハウジングステージ

5/5 キッズわくわくワーク
場所：新座・朝霞ハウジングステージ

5/27.28

レイクタウン防災フェス
場所：越谷レイクタウン



■ 赤十字運動月間について

5月1日は日本赤十字社の前身である「博愛社」の創設日。また、5月8日は赤十字の創始者であるアンリー・デュナンの誕生日にちなみ「世界赤十字デー」としています。

このように赤十字にゆかりのある5月を「赤十字運動月間」と位置づけ、毎年、活動へのご理解とご協力を呼びかけています。



特設サイトQR



ショートムービー
QR

■ 赤十字社について

赤十字社は、アンリー・デュナン（スイス人：第一回ノーベル平和賞受賞者）が提唱した「人の命を尊重し、苦しみの中にいる者は、敵味方の区別なく救う」ことを目的とし、世界192の国と地域に広がるネットワークで、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」活動をしています。

日本赤十字社もその中の一社であり、西南戦争における負傷者救護で初めて活動を行って以来、苦しむ人を救うために幅広い分野で活動しています。



【アンリー・デュナン】

- 1828年 5月8日 スイスにて生誕
- 1859年 イタリア統一戦争の激戦地ソルフェリーノにおいて4万人にのぼる死傷者の悲惨な有り様を目撃。村人たちと協力し、負傷者を教会に収容するなど懸命の救護にあたる
- 1863年 五人委員会の結成、赤十字規約の成立
- 1867年 第一回赤十字国際会議
- 1875年 「五人委員会」から「赤十字国際委員会」に改称
- 1901年 世界初のノーベル平和賞受賞
- 1910年 死去

取材連絡票

FAX : 048-834-1520

取材案件名	5月10日（水）赤十字運動月間呼び掛け
御社名	
部署名	
担当者名	
連絡先 ※今後当社から取材関連の ご連絡をさせていただきます	TEL : e-mail :
媒体名	
取材目的・ご希望	
放送・発行予定日	<input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 <input type="checkbox"/> 未定
スタッフ数・機材	人 (<input type="checkbox"/> カメラ ・ <input type="checkbox"/> スチール)
放送・発行内容の転載可 不可	<input type="checkbox"/> 可 ・ <input type="checkbox"/> 不可 ・ <input type="checkbox"/> 応相談